

姫路市総合福祉通園センター「ルネス花北」 成人部機関紙

ゆうあいだよ

№191

令和8年(2026年)6月22日発行

障害者支援センター

かしのきの里

在宅障害者デイ・サービスルーム

書写障害者デイサービスセンター

広畑障害者デイサービスセンター

障害者やすらぎルーム 障害者体育館

あぼしりサイクル事業所

ぱっそ・あ・ぱっそ

梅雨の時期とは思えないほど暑い日々ですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。ルネス花北成人部では熱中症対策を講じながら支援を継続しています。

今回は、成人部の事業所紹介に加え、書写障害者デイサービスセンターのプログラム紹介、看護師ミニ講義をクローズアップしました。是非、ご一読ください。

ゆうあいギャラリー



タイトル

「笑顔」

～令和4年度日本肢体不自由児協会美術展 書の部 優秀賞～

受賞者：小島 芳郎さん

(在宅障害者デイ・サービスルーム)

掲載作品：習字教室共同制作

※受賞作品の書と、習字教室で作成した朝顔の絵を組み合わせ掲載しています。

広く活動内容を知っていただくために、利用者の写真を多く掲載しています。
掲載写真は、ご本人の了承を得たうえで使用させていただいています。

特集 事業所紹介

姫路市総合福祉通園センター「ルネス花北」成人部の各事業所を紹介すると共に、今年度の各事業所が目指す取り組みについて紹介します。

障害者支援センター

所長 竹田 公子

就労・訓練グループサービス管理責任者 鷹谷 直樹

活動作業グループサービス管理責任者 秋竹 展樹

新年度が始まり、当センターは新たに8名の利用者の方をお迎えしました。初日には緊張した面持ちの皆さんに辞令（配属の班）を交付させていただきました。早く当センターの日課や雰囲気慣れてくださいね…と思いながら見守り関わる4月でした。どの班も当初は少し気忙しく動いている感じはありましたが、5月に入ると8名の利用者の方も当センターにすっかり馴染まれ、各班も順調に平常運転となっています。清々しいこの時季は、午後になると班ごとの外出や山登り、野菜作り、施設外作業など精力的に活躍されている利用者の皆さんの様子に頼もしさを感じる毎日です。

今年度は、より個人個人に合わせた支援の展開をはかるべく、支援プログラムの充実をめざしていきます。就労を主軸にし、利用者の皆さんが主体的に取り組めるよう作業工程の見直しをはかり、安心して作業従事できる環境づくりに努めてまいります。また、引き続き日課の中に運動メニューや体を動かす活動を取り入れ、皆さんの健康維持をはかっていきます。

日頃から地域や学校、他事業所とのつながりを大切にしながら様々な取り組みを進めていますが、今年度もすでに新たな取り組みが始動しています。（またの機会に報告させていただきたいと思います。）地域とともに楽しみながら…を数多く具現化する1年にしていきたいと考えています。



在宅障害者デイ・サービスルーム

室長 中川 明美

グループ主任 畑中 浩佑

姫路市でも唯一の教室型の地域活動支援センターであるルネスデイでは、音楽、絵画、スポーツ、料理、習字など11種類の教室を実施しています。みなさん、好きなこと、やってみたいことを選びながら通われています。1教室から利用することができ、他事業所と併用されている方や、毎日もしくは一日おきなど、それぞれのライフスタイルに合わせて通われています。

また、教室とは違った「ほっとサロン」という時間を金曜日の午後に隔週で設けています。利用者のみなさんで企画を話し合い、「芝桜を見に行きたいからヤマサ蒲鉾へ行こう」「キャンプ場でバーベキューをしたい」「教室で使う材料の買い物に行きたい」などの意見をもとに活動の内容を決めています。また、日々の関わりの中で出てくるニーズも取り入れ、銀行のATMやセルフレジを使う練習をしたり、災害時を想定した連絡方法の確認をしたり、防災食作りを体験したりと、さまざまな企画を実施しています。

特に今年度は、地域の方々との交流を大切にしながら、地域に開かれた「地域交流ほっとサロ

ン」を企画していきたいと考えています。地域との交流の機会を通して、ルネスデイをより身近に感じていただき、地域の中で居場所やつながりを求めている方が気軽に集える場づくりを目指していきます。

	月	火	水	木	金	土
午前 10:00~12:00	音楽	ちぎり絵	パソコン2	絵画	おどろ ましよう	料理
午後 13:30~15:30	手芸	パソコン1	スポーツ	習字	アートセラピー フラワー アレンジメント	ほっと サロン



書写障害者デイサービスセンター

所長 土屋 敦
サービス管理責任者 平野 潤

書写障害者デイサービスセンター（以下、書写デイ）は書写西住宅を含む閑静な住宅街の中にあります。そんな地域性を活かして今年度も自治会のみなさま、他法人やボランティアとも連携しながら盛大に「じゃらんじゃらんまつり（地域交流行事）」を開催予定です。昨年度も好評で500名を超える参加者がありました。

日々の活動については「あんなゲームをしたい」「僕が新しいゲームを考えたい」「外出してたこ焼きが食べたいな」「立位で散歩したいな」等、意思決定支援の視点をもとに、利用者みなさんの思いを丁寧に聞き取る方法を模索しながら、充実した日中活動が行えるように取り組んでいます。また、相談員やルネス花北リハビリテーションスタッフ（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士）とも連携しながら、生活面での支援も行っています。

家族会での企画では、ご家族のみなさまと一緒に防災や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、少しずつ将来について一緒に考え、安心して地域生活を送れるような取り組みも行っています。

今年度も利用者のみなさんと一緒に、たくさん笑って元気で笑顔いっぱい書写デイにしていきたいと思ひます。利用見学も随時受け付けています。事業所玄関で素敵な共同作品が、来所者の皆さまをお待ちしております。



書写デイ外観



共同作品「おかしのもち」

広畑障害者デイサービスセンター

所長 中川 繭子
サービス管理責任者 東 陽介

みなさん、こんにちは！今年度私たちは「地域とつながる」をテーマに活動していきたくと思っています。

昨年度は新たに 3 つの交流がはじまりました。1 つ目は、近くの高齢者デイサービスセンターとの交流です。当事業所から利用者数名がお邪魔して、音楽療法などの活動に楽しく参加させてもらっています。今度はこちらへ来ていただき、喜んでいただけるプログラムを企画していきたくです。2 つ目は、広畑中学校 1 年生のみなさんを対象に福祉授業を実施しました。利用者 2 名が登壇し、日々の生活について話をしたり、福祉にまつわるクイズを取り入れながら生徒のみな

さんに興味をもって学んでいただけるように工夫をしました。そして、この授業を聞いてくれていた3名の生徒のみなさんと、6月のトライやるウィークで再会できることとなりました。3つ目は、近隣の福祉事業所をお誘いし、当事業所で救急救命研修を実施しました。これをきっかけに、イベントに招待していただくなど、事業所どうしのつながりも深まりました。

今年度はさらに姫カツ連携活動に登録し、中学生の地域での学びや出会いの場として受け入れができることを期待しています。また、ボランティアや実習生の受け入れも積極的に行い、私たちの存在や福祉のことについて、地域のみなさんにもっと知っていただけたら良いと考えています。地域の事業所や関係機関はもちろん、「福祉」を超えた場面での人々との出会いを大切に、利用者の方のみなさんとともに「つながり」を広げていきたいと思っています。

かしのきの里

園長 堀内 泰介
サービス管理責任者 小田 健司

今年度のかしのきの里は、サービス管理責任者の異動等で3名の職員を迎え、新しい体制での運営が始まりました。

かしのきの里では、多機能事業所として3つの事業に取り組んでいます。

就労継続支援B型事業では、除草作業、マンション清掃、空缶リサイクル、陶芸などに取り組んでいます。外での作業では、昨年、熱中症対策マニュアルを定めました。今年の夏も暑くなると聞き及んでいます。しっかりと対策し、安全な作業環境づくりを引き続き行っています。陶芸は、今年も10月末から大手前公園で行われる全国陶器市への出店を予定し、今から作品作りに励んでいます。

就労移行支援事業では、昨年度末に1名の方が利用終了され、就職しました。4月から新規の利用者さんも1名加わっています。この事業は利用期限が2年間と定められています。自分の強みを見つけ、就職やその先の希望する生活へとつなげる貴重な時間となるよう取り組んでいます。

就労定着支援事業では、就職されている方をサポートし職業生活の定着を図っています。この定着支援は就職されてから3年半までを担当しますが、その先の安定までを視野に入れ、ご本人への支援だけでなく、周りで支えていただいている方との関係づくりも重要なポイントと捉えています。

夏は暑く、冬は寒いかしのきの里ですが、安全に充実した活動ができるよう、みんなで力を合わせ、楽しい一年にしたいと思います。

今年度もよろしくお願いいたします。

※作業や訓練だけでなく、皆さんの笑顔あふれる様子をInstagramでも紹介しております。

是非ご覧ください。

あぼしリサイクル事業所

所長 崎岡 和幸
サービス管理責任者 野上 慎一郎

あぼしリサイクル事業所は、エコパークあぼしの中にある就労継続支援A型事業所です。みなさんが家庭から出されたペットボトルやプラスチック容器包装の手選別作業を行い、リサイクル資源として適切に再資源化できるよう、一つひとつ丁寧に確認を行っています。回収されたものの中には本来混入しないはずの注射針や包丁が含まれていることもあり、安全面に十分配慮しながら作業を進めています。集中力や責任感が求められる仕事ではありますが、利用者の皆さんが日々真剣に取り組まれています。

また、就職を目指している方への支援にも力を入れており、日々の作業を通じた働く力の向上

に加え、ビジネスマナーや社会人として必要なスキルの習得につながる勉強会も実施しています。一人ひとりの目標に応じて、「働き続ける力」を育めるよう支援を行っています。

日頃の取り組みの成果として、選別したプラスチック容器包装の品質について高い評価をいただく機会もあり、利用者・職員ともに大きな励みとなっています。また、利用者自治会主催の交流の機会なども大切にしながら、「働く」と「楽しむ」のメリハリを意識した事業所運営を心がけています。

今年度も、利用者の皆さんと職員が力を合わせながら、一步ずつ前に進んでいきたいと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。



ぱっそ・あ・ぱっそ

所長 崎岡 和幸

相談支援事業所ぱっそ・あ・ぱっ소는、障害福祉（障害児）サービスを利用する際に必要なサービス等利用計画（障害児サービス利用の場合は児童支援利用計画）の作成をしています。その後、定期的なモニタリングを行い、サービスの利用状況、気持ちや意向の変化を確認し、その時々状況に合わせてサービス調整をしながら、希望する生活の実現に向けた支援を行っています。その他、基本相談のほか、施設や病院から地域での生活への移行の支援（地域移行支援）、移行後の地域での生活の安定に向けた支援も行っています（地域定着支援）。また、姫路市内の相談支援事業者への助言や人材育成、相談機関との連携強化の取り組み等を実施する「姫路市基幹相談支援センター」、こどもから大人まで、障害のある方々の地域の相談窓口である「ひめりんく（中央）」を受託しています。

令和8年度においても、ぱっそ・あ・ぱっその理念を頭に置きながら、一人ひとりに合わせた支援を考えていきたいと思っています。

ぱっそ・あ・ぱっその理念

- その人らしさを大切にした本人中心の支援
- 子育てを支える家族支援
- 地域をつくるソーシャルワークの実践

あぼしりサイクル事業所がInstagramを開設しました

姫路市社会福祉事業団関連 Instagram



障害者支援センター



クッキー工房 樫の詩



Café びあのびあへの



ルネスデイ



書写デイ



広畑デイ



かしのきの里



あぼしりサイクル事業所



ふれあいの郷養護老人ホーム